

かんが 考えてみよう：「国」が生まれるまでにどのような変化があっただろうか

くうらん 空欄を埋めましょう！(Fill in the blanks！)

じょうもんじだい §1 縄文時代

(1)日本列島の形成…約1万年前に現在と同じ形になった

せつき 石器のほかに、どき 土器を使うようになった

→土器の表面には縄目の文様があるので(1 縄文土器)と呼ばれる。

※この時代を縄文時代とよぶ



▲縄文土器

(2)縄文時代の暮らし

①土器の使用…食べ物の調理(煮たき)が可能になった →食生活が豊かになった

②植物の栽培…農耕はあまり発達しなかった →人々は主に狩り(狩猟)や採集で生活していた

③住居…人々は食料の手に入れやすい海岸や水辺に(2 竪穴式住居)を作った

→集落の近くには動物の骨や貝殻を捨てた(3 貝塚)がある

④(4 土偶)の作成…魔よけや食料の豊かさを祈る

⑤身分の差…人々は貝塚や共同墓地に平等に埋葬された

→縄文時代には貧富の差・身分の違いがなかった

と考えられている



▲貝塚の様子(復元、品川区立大森貝塚公園)

やよいじだい §2 弥生時代

(1)稲作(米作り)が伝えられた (紀元前5～4世紀ごろ)by渡来人

→北九州から東日本まで急速に広まった

※同じ頃に、金属器=(5 青銅器・鉄器)を作る技術も伝えられた。

→祭りのための宝物や農具・武器として使用された



▲弥生土器

(2)(6 弥生土器)…赤くて薄く、じょうぶな土器

※紀元前4世紀～紀元後3世紀ころまでを弥生時代とよぶ

(3) 社会の変化

人々は水田のまわりに集落(むら)をつくって定住するようになった

→むらには人々の中心となる有力者があらわれた…この頃から貧富の差も出てきた

§3 小国の分立

(1) 小国の分立

①背景…大きなむらがそのほかのむらを支配するようになる

→小さな「国」へと成長…王や豪族が支配する小国が100余り存在した(紀元前1世紀ごろ)

②奴国が中国に使節を送った

→皇帝から(7 **金印**)を与えられた

③女王卑弥呼が(8 **邪馬台国**)を支配し、呪術の力で政治をおこなった

→30余りの小国を従え、中国へ使者を送った(3世紀ごろ)



(2) 中国の歴史書から見る日本

中国の歴史書には、**倭**と呼ばれた日本についての記述が残っている

→その頃の日本にはまだ文字はなかった

書いてみよう： 縄文時代から弥生時代にどんな変化がありましたか

(例) 縄文時代は狩猟や採集で暮らしていて、貧富の差や身分の違いがなかった。

“弥生時代には稲作が始まり、食糧などを蓄えることができるようになったので

貧富の差が生まれた。むらが国に成長していき、むらの有力者が王や豪族になった。

キーワード：稲作の開始 貧富の差 むらから国へ